



透明帯電防止コーティング剤

デナトロン P-560ST

○ 特長 ○

- 導電性ポリマー (PEDOT:PSS) を使用
- 延伸性に優れる
- 完全水系のため、インラインコーティングに好適
- 各種基材への密着性が良好

○ 用途例 ○

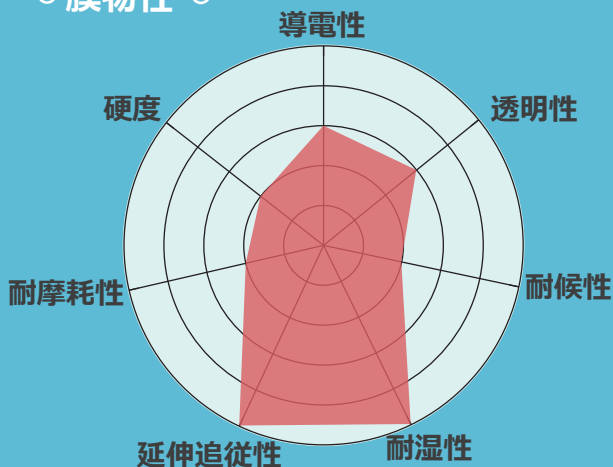
- 光学フィルムの帯電防止
- 電子部品包装用フィルムの帯電防止
- 電子部品搬送用トレイの帯電防止
- 産業資材の帯電防止

○ 液物性 ○

	P-560ST
外観	濃青色
主な成分	導電材・延伸助剤
主な溶剤	水
pH	6~9
粘度	10~30mPa・s
貯蔵安定性 (5℃)	12 か月
貯蔵安定性 (25℃)	4 か月



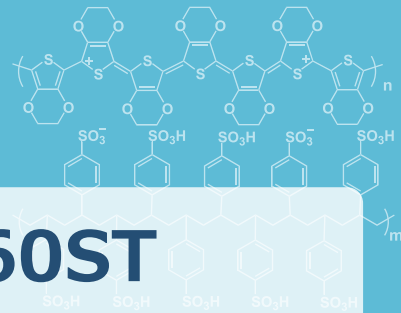
○ 膜物性 ○



	配合比率 (wt%)		塗布量 (cc/m ²)	表面抵抗率 (Ω/sq.)	全光線透過率 (%)
	P-560ST	希釈剤			
塗工例 1	100	0	4	3×10 ³	99
塗工例 2	25	75	4	1×10 ⁵	>99
塗工例 3	10	90	4	2×10 ⁶	>99

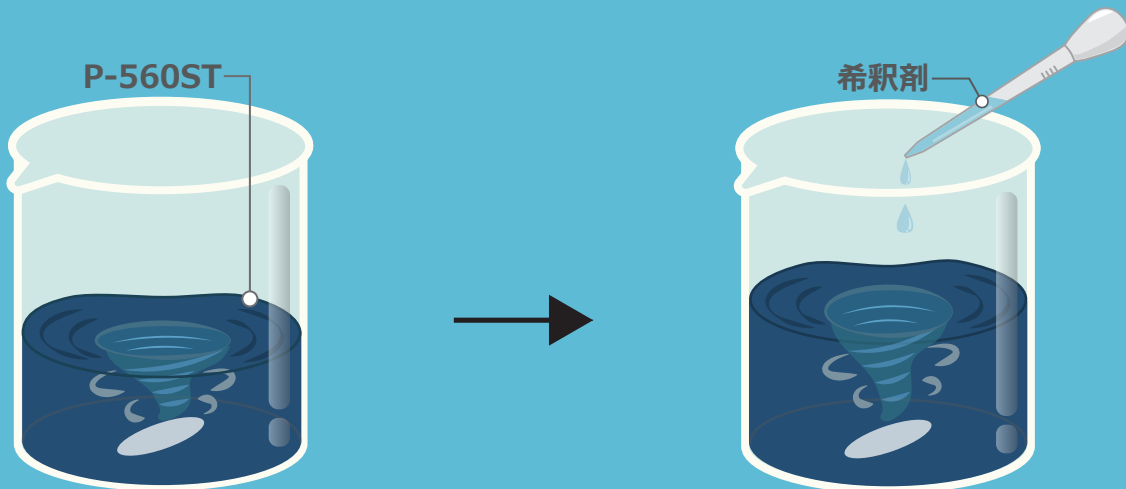
耐候性試験条件 : UV 照射 1000hr
 耐湿熱性試験条件 : 85℃ 85%RH 1000hr
 耐摩耗性試験 : 布での乾拭き、水拭き、溶剤拭き

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご了解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS (安全データシート) をご参照の上、ご安全にご使用ください。



透明帯電防止コーティング剤 デナトロン P-560ST

液の作製方法



1 P-560ST を準備し、
攪拌を開始します。

2 攪拌しながら希釈剤を
ゆっくり添加してください。
※推奨は 50%含水エタノールです。
(エタノール 50wt%+ 水 50wt%)

塗膜の作製方法

- 1** ワイヤバー、スプレー、スピン、グラビア、スリット、ディップなど汎用的なコーター装置を用いて塗布してください。
推奨基材はプラスチックフィルム (PET, HIPS, PC, PMMA など) やガラスです。
- 2** 110~150℃にて 0.5~2 分程度乾燥してください。
※乾燥オーブンの能力によっては、乾燥不足が原因で狙いの物性が出ない場合があります。
その場合は乾燥温度、時間などを上げるなどし、表面のタック性が無くなるまで乾燥してください。

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保證するものではありませんので、予めご了解をお願いいたします。また、製品の仕様は予告なく変更する場合がございます。ご使用の際には SDS(安全データシート)をご参照の上、ご安全にご使用ください。